



桃MOMO通信



平成24年 6月号

水俣市で「もやい音楽祭」というイベントが開催されているのをご存じですか？今年で5回目を迎えましたが、水俣病や障がいを負った人々が作詞をし、それらの作品に県内外のミュージシャンの皆さんが作曲・アレンジをし、演奏を披露するという音楽会です。弊社では、縁あって、そのライブCDの制作を担当しています。

ご承知の通り、“公害の原点”とされる水俣病は、日本の高度経済成長を支える施策により、発生、拡大し、多くの方々の命と健康を奪い、世界に類のない被害を引き起こしました。私は水俣で生まれ、高校を卒業するまで暮らしましたが、当時は、水俣市内を通るだけで水俣病がうつるといった誤解や偏見を持つ人もあり、修学旅行や部活の遠征で出かけると「水俣病がうつる、あっちいけ！」など、心ない言葉を投げかけられることもあって、出身地を明かすのが怖かった時期もありました。

「もやい音楽祭」では、毎年、20曲近い楽曲がステージで披露されますが、そこで奏でられる音楽は、5分前後の短い時間の中に、水俣病や障がいを負った人々の想い、人生が凝縮されています。その前後で語られる作者へのインタビューも心に染みます。きちんと向き合って、こうした活動を地道に続けている地元の皆さんを、私はとても誇りに感じるので。

先日、転職で熊本を離れることが決まった友人を水俣に案内しました。今後いろいろな街で暮らすことになるであろうその人に、**水俣の魅力**を知ってほしかったからです。”村まるごと生活博物館”等がある山間地域の美しい石積みの棚田を案内したあと、水銀を閉じ込めた埋立地＝エコパーク水俣の海岸沿いを歩き、久しぶりに「水俣病資料館」にも足を運びました。そこには、発生時から最新の報道資料まで、とてもわかりやすく整理され、工夫を凝らして展示してあるスペースには「福島の皆さんへのメッセージ」の寄せ書きも掲げられてありました。**水俣の問題は福島に通じる**…。原発事故で”世界のフクシマ”となった福島に水俣の経験を伝える企画展も開催されていたようです。

私に出来ることはささやかだけれど、悲劇を悲劇で終わらせないためにも、事実から目を背けず、堂々と胸を張って故郷・水俣を自慢し続けたいと思います。

(株式会社 桃MOMO 代表取締役 浜島玲恵)



※水俣の美しい風景をオリジナル音楽とともに綴った映像「みなまた PhotBook」は、弊社ホームページでも視聴可能です。4年前に制作したのですが、ぜひ、ご覧ください。
検索 (株式会社桃→メディアクリエイト→DVD実績) 音楽: 志娥慶香

《What's new》

◇セミナー部門強化

セミナー部門を強化しました。「グローバル教育研究所」「ボイスコーポレーション」(提携プロダクション)のコンテンツ、メニューを提供できるようになりました。詳しくは、ホームページをご覧ください。

◇桃FACEBOOKスタート!

FaceBookページを開設しました。まだまだ不慣れではありますが、定期的に情報を発信していきたいと思っておりますので、ブログ同様、どうぞよろしく願いいたします。

→ HPにて【MOMOの活動情報ブログ】も随時アップ中です!

◇新人MC育成スタート!

7月より新人育成のための基礎コースを開設致します。皆様の周りにイベント・キャンペーン・ブライダル等で活躍したいMCタレント志望の方がいらっしゃったら是非ご紹介ください。

◆ブライダル会場でスタッフとして働いてみたい!!という方も募集しています!

◆タレント・エッセー 相馬 ゆう◆

毎月、MOMOタレントが日頃心がけていること、感じていることなどを紹介していきます。

たくさんの観客・夏の熱気・ステージの照明…緊張しながらそこへ立ち、初めてのMCをしたのは小学校六年生。地元地区の夏祭りです。メインMCにおいでになっていたのは、当時からよく聴いていたラジオのメインパーソナリティーの方。私の担当は、地元保育園の園児7～8人ほどが登場する「子ども発表」の部門。小さな園児をステージに呼び寄せ、名前や曲目のインタビュー。ステージ下で手を振る保護者や先生方にも目を配り、その姿を伝えながら「それではお聞き下さい」なんて言いながらステージ脇へはけて、発表が終われば再び登場し「ありがとうございました。拍手をお送り下さい。」今の自分からすると、たどたどしいMCで、子供が子供を紹介し可笑しな姿だったんだろうな…なんて恥ずかしくもありますが、「これって楽しい！」と感じたからこそ、今の自分のあるのだと思います。

たくさんの方の企画や準備や支えがあり、ステージに立てること。マイクを持っていること。

その日を楽しみに集まって下さった皆さんに感謝をし、笑顔や感動を伝えていけること。

そんな素敵なお仕事を、皆さんのおかげで続けることができています。

あの照明のまぶしさ・ステージの緊張感・人々の笑顔と拍手…子供ながらに感じた

伝えることの大変さや楽しさ。メインMCの方から頂いた「よかったよ！頑張ったね！」

の言葉と笑顔。この自分の原点となっている、あの夏のステージをいつまでも忘れず、

これからも皆さんの前に立たせて頂くこと、伝えることを自分の仕事とし、自分らしく歩み続けていきたいです。



◆おススメ・エンタ◆「ツバル 海拔1メートルの島国、その自然と暮らし」(遠藤秀一) <紹介者・一ノ瀬 敬子>

南太平洋に浮かぶ9つの小さな島々からなる国「ツバル」。

この島の人々は熱帯の豊かな自然の中で、魚と椰子と僅かな作物を大切にしながら知恵と工夫を凝らして暮らしている。

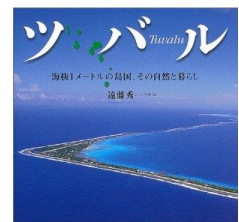
今この国に訪れている危機、それは地球温暖化による“海面上昇”。

地面から海水が沸き出し、波に削られ島は徐々に小さくなっている。

これは深刻なツバルの状況を紹介し、今、私達にできることは何かを問いかける

フォトドキュメントだ。先進国の生活スタイルが及ぼした温暖化。

私たちの行動について改めて考えさせられる一冊です。



<BOOK>

日本語検定問題にチャレンジ！！

今月も日本語問題をあげてみました。お時間あるときにチャレンジしてみてください！

※【 】の言葉を最も適切に使っている文はどれでしょうか？

【使噺】

- ①あの男が会員を使噺して、悪徳商法を広めていったことは疑いない。
- ②社長は常日頃、社員を適材適所で使噺するように心がけているようだ。
- ③君が的確に使噺すれば、彼はきちんと職務を果たすよ。

【諫言】

- ①諫言に釣られて高利の金を借り、にっちもさっちもいかなかった。
- ②事実無根の諫言を信じた社長に叱責された。
- ③彼は、部下の諫言に率直に耳を傾ける度量を持っている。

弊社では、司会者・タレントの育成・派遣、各種イベント、セミナーの企画・運営、
各種メディアの企画・制作、人材派遣事業を行っております。
お気軽にお問合せください。(<http://www.momo-j.net>)

株式会社  桃momo

〒860-0001 熊本市千葉城町5-50 熊本メディアビル4F
TEL 096-319-8011 FAX 096-319-8012
一般労働派遣事業 般43-300030
有料職業紹介事業 43-ユ-300093

答え

- 【使噺】 → ①
【諫言】 → ③